

かずら工芸ワークショップ

日本三大秘境、徳島県祖谷。
自然と暮らしが密接にあるこの地で、
かずらを使った工芸を体験！

かずらを使って
小型のかごを製作します



講師は工芸歴20年のベテラン
祖谷 徳善集落の上村キク子氏
(※写真は徳善集落の飯岡氏)



かずらとは？

つる草の総称。ここでは徳島県西部、剣山山麓に自生するシラクチカズラやツヅラカズラ、アケビカズラなどのことを指します。
徳島県西部を代表する観光地である「祖谷のかずら橋」はこのかずらで架けられています。平家の落人が追っ手の進入を防ぐために編んだといわれ、素材にはシラクチカズラが使用されています。

2017.9.2 (sat) – 3 (sun)

プログラム概要

西祖谷でかずら工芸をされている方からかずら工芸の制作について学び、今後工芸文化を守り継いでいくためにどうすべきかを考えるワークショップを実施。

※集合場所等詳細については、参加受付時にご連絡いたします。

●9.2 (sat)

10:00 かずら橋・琵琶の滝
12:00 昼食
13:30 かずら工芸体験(製作)
16:00 1日目終了

●9.3 (sun)

10:00 かずら採取地視察
11:00 かずら工芸体験(下準備)
12:00 昼食
13:00 アイデアワークショップ
15:00 2日目終了

*** 参加費(材料費等): 3000円**

お問い合わせ先

Mail :nishiawa@tokushima-u.ac.jp

TEL : 0883-78-2127

徳島大学にしあわ学舎



主催:徳島大学にしあわ学舎、徳島大学地域創生センター
共催:徳島県 協力:三好市地域おこし協力隊 井上 琢斗